

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church
 年間第 32 主日 32nd Sunday in ordinary time
 すべての人は、神によって生きている (ルカ 20・38)
All men are in fact alive (Lk 20:38)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ
 土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)
 日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事： 教会委員会

物故者追悼式

今年も恒例の物故者追悼式が 11 月 23 日(水)10:00 より行われます。ご参加ください。

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第 4 日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行います。11 月は 20 日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。
 (宣教部：シスター植木)

献堂 50 周年記念事業第 5 期献金報告(修正)

2016 年第 5 期報告 (10 月末現在)

申込者数：82 名 (目標：200 名)

献金合計：1,671,050 円(目標：3,000,000 円) 1 期からの合計は 12,100,867 円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

50 周年ロザリオの祈りの報告(2016 年分)

10 月 7 名 103 環です。累計で 108 名 1,623 環です。今年は 3,000 環が目標です。よろしく願い致します。
 (50 周年委員会)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **12,100,867** yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Tagalog na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga). , January 4 ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は 11 月 24 日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。12 月はお休みです。

共同祈願の祈り

神よ、あなたのいのちに
 あずかせてください

その他今後の予定

11月13日(日) 年間第33主日

11月19日(土) 壮年部 巡礼

11月20日(日) 王であるキリスト いくしみの特別聖年終了

11月23日(水) 物故者追悼式

11月27日(水) 待降節第1主日 黙想会 共同回心式

今週の掃除は11月12日(土)
国際Gです。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
November 12th Saturday
International Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第32主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (20:27-38)

〔そのとき、〕復活があることを否定するサドカイ派の人々が何人か近寄って来て、イエスに尋ねた。

《「先生、モーセはわたしたちのために書いています。『ある人の兄が妻をめとり、子がなくて死んだ場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄の跡継ぎをもうけねばならない』と。ところで、七人の兄弟がいました。長男が妻を迎えましたが、子がないまま死にました。次男、三男と次々にこの女を妻にしましたが、七人とも同じように子供を残さないで死にました。最後にその女も死にました。すると復活の時、その女はだれの妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのです。』》

イエスは言われた。「この世の子らはめとったり嫁いだりするが、次の世に入って死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は、めとることも嫁ぐこともない。この人たちは、もはや死ぬことがない。天使に等しい者であり、復活にあずかる者として、神の子だからである。死者が復活することは、モーセも『柴』の個所で、主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、示している。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。すべての人は、神によって生きているからである。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (20 : 27-38)

The God of the living

Some Sadducees - those who say that there is no resurrection - approached Jesus and they put this question to him.

“Master, we have it from Moses in writing, that if a man’s married brother dies childless, the man must marry the widow to raise up children for his brother. Well, then, there were seven brothers. The first, having married a wife, died childless. The second and then the third marries the widow. And the same with all seven, they died leaving no children. Finally the woman herself died. Now, at the resurrection, to which of them will she be wife since she had been married to all seven?”

Jesus replied, “The children of this world take wives and husbands, but those who are judged worthy of a place in the other world and in the resurrection from the dead do not marry because they can no longer die, for they are the same as the angels, and being children of the resurrection they are sons of God. And Moses himself implies that the dead rise again, in the passage about the bush where he called the Lord the God of Abraham, the God of Isaac and the God of Jacob. Now he is God, not of the dead, but of the living; for to him all men are in fact alive.”

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

司祭：主イエス・キリスト、

全員：あなたは、わたしたちが天の御父おんちちのようにいつくしみ深い者となるよう教え、あなたを見る者は御父おんちちを見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまな ざしによって、

右側：ザアカイとマタイは富への執着しゅうちやくから解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人ぬすびとには樂園が約束されました。

左側：あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

右側：何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますよ うに。

左側：あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、心から思いやることができるようお望みになりました。

全員：これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧よくあつされている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

司祭：この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、御父と聖霊とともに世々に

生き、治めておられるあなたにおささげいたします。 アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし
- 2) （教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 3) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 4) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 5) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）